



業界初！クラウド型みちびき c m精度測位受信機

Chronosphere-L6S 販売開始のお知らせ

クラウド型受信機により c m精度測位率の向上とロケーションサービスの開発を加速

株式会社コア（本社：東京都世田谷区、代表取締役 社長執行役員 松浪 正信、以下「コア」）は、「Cohac[∞]」（コハクインフィニティ）ブランドの新たな製品として、みちびき c m精度測位受信機「Chronosphere-L6S（クロノスフィア エルロクエス）」の販売を開始いたします。「Chronosphere-L6S」は、機能の一部をクラウド化し、50万円を切る受信機本体価格を実現するとともに、クラウド上でのアプリケーション開発環境を提供してまいります。性能面でも、クラウド側でみちびきの補強信号を常時取得することで、c m精度測位までの初期収束時間（TTFF: Time To First Fix）と、ビルやトンネル等による衛星信号遮断後の復帰時間を短縮し、c m精度測位の目安となる FIX 率の向上を実現しました。本日より予約販売を開始し、7月上旬より随時出荷予定です。

クラウド型 cm 精度測位受信機

New!

単独 cm 精度測位受信機



Chronosphere-L6S
498,000 円 から



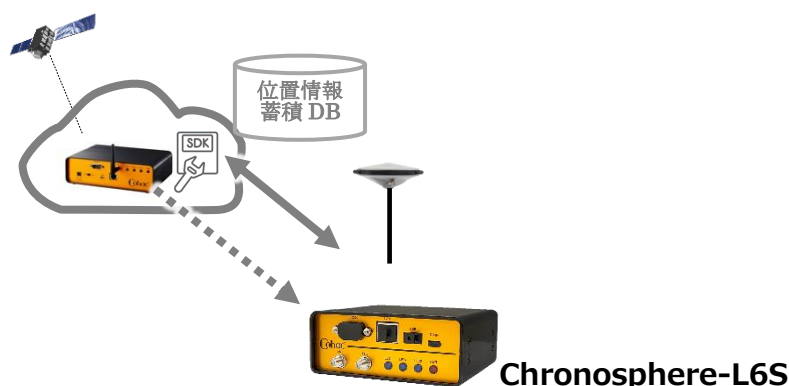
Chronosphere-L6
(2018年11月発売)

<特長>

- 1) 業界初の低価格化と小型化を実現！
- 2) 信号遮断からの復帰時間を大幅に短縮！
- 3) クラウド連携の信号補強、アプリ利用

1. Chronosphere-L6S の特長

本機は「cm精度測位の利用をもっと身近に」をコンセプトに開発しました。期待が先行する利用促進分野で、いち早く試し、利用効果を体感できるよう、様々な性能・機能・サービスの向上を図っております。



利用の促進が期待される分野



1) 業界初の低価格化と既製の L6 製品比 1/3 となる小型化を実現！

みちびき cm精度測位補強サービスは、対応受信機が高価格・大型であることが課題でした。

「Chronosphere-L6S」は、希少・高価な受信機の L6 信号に関わる処理をクラウドサービス化することで、受信機本体価格の大幅な低価格化※1 を実現、一部ハードウェアを受信機から切り出すことで、サイズも市場化されている既製品比で 1/3 と小型化しました。

※1 クラウド利用料・通信料が別途かかります。アンテナはオプションです。



2) 初期収束時間を大幅に短縮、信号遮断からの復帰時間も 10 秒以内に大幅に短縮！

受信機を起動してから c m 精度測位がなされるまでの初期収束時間は、ユーザが受信機を利用できるまでの待ち時間を意味し、通常 CLAS (Centimeter Level Augmentation Service) 方式の受信機では、測位に必要な一連の L6 信号情報を受信するまでに最低でも 1 分程度の初期収束時間が必要となります。「Chronosphere-L6S」は、クラウド側で L6 信号を常時取得し、当社独自技術※2 により L6 信号情報を起動前の情報までさかのぼって配信することで、c m 精度測位までの初期収束時間を他社 L6 対応品より約 50 秒短縮しました。また、トンネル等により一定期間衛星信号が遮断された環境から復帰する場合も、遮断期間の L6 信号情報をクラウドから取得することで、10 秒以内で c m 精度測位に復帰します。本機能により、受信機の起動時および悪条件からの復旧時でも、非常に高いパフォーマンスを発揮することができます。

※2 特許出願済

【測定結果 (参考値)】

	初期収束時間(秒)	復帰時間(秒)
Chronosphere-L6S	46.0	9.5
Chronosphere-L6	74.2	47.8
他社製受信機	93.9	60.6

※初期収束時間：機器の電源ONからcm精度測位までの時間を測定(平均値)

※復帰時間：65秒の信号遮断後からcm精度測位までの時間を測定(平均値)

< c m 精度測位率の向上 >

クラウド側で L6 信号情報を安定的に取得することで、利用者にビルやトンネルなど衛星信号の遮断される状況が発生しても復帰後すぐに CLAS 測位が可能となり、従来の CLAS 受信機に比べて c m 精度測位の目安となる FIX 率を向上いたしました。

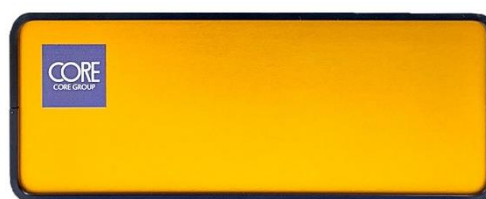
3) クラウド連携での信号補強、アプリケーションの開発・利用が可能に！

「Chronosphere-L6S」は、クラウド機能と連動することで低価格化と測位精度の向上を実現します。測位する上で受信機が既にクラウドとつながっていることから、新たにネットワークやサーバインフラを構築することなく、すぐに独自のロケーションサービスを開発できる環境を実現します。今後クラウド上のアプリケーション開発環境を整備して、位置情報の蓄積データベースとともに、ユーザ様にご提供してゆく予定です。なお、アプリケーション開発は当社にて実施させていただくとも可能です。

2. 製品仕様



前面



後面

性能仕様			
捕捉信号		CLAS	MADOCA
	GPS	L1C/A,L2,L5	L1,L2
	QZSS #1-4	L1C/A,L2,L5,L6*	L1,L2,L6*
	GLONASS	-	G1,G2
	Galileo	E1,E5a	-
L6信号の同時補足	4衛星*		
測位レート	最大20Hz (設定やオプションにより変更可能)		

* クラウド側機能

機器仕様	
本体サイズ	W115×D100×H50[mm]
重量	450g 前後
筐体	アルミニウム製
電源仕様	電源電圧：DC5V (USB Microコネクタから給電) 消費電流：1100mA (ピーク値) 消費電力：5.5W (ピーク値) 1時間当たりの消費電力：3.5Wh (参考値) ※値は開発中のものであり、製品リリース時は異なる可能性があります。
環境特性	0 - 40℃ (ただし結露しないこと)

I/F・通信等	
Ethernet	RJ45
シリアル	D-Sub9
USB	Micro-B (電源入力専用)
出力形式	NMEA

提供形態	
製品単体	本体、電源アダプタ、取扱説明書
多周波受信機	本体に内蔵
多周波アンテナ	別売 (推奨：Septentrio社製 PolaNt-x MF)

※ 仕様は予告なく変更することがあります。

3. 今後の展開

この度は、これまでのGNSS（Global Navigation Satellite System）受信機の開発力と、自社が保有するIoT（Internet of Things）とクラウドの技術力を組み合わせ、クラウド型GNSS受信機「Chronosphere-L6S」を実現いたしました。

準天頂衛星みちびきのcm精度測位補強サービスは2018年11月に開始されましたが、当社は2005年より高精度測位技術の研究・開発を進めてきており、「みちびき」対応ソリューション「Cohac∞」シリーズを展開して数多くの実証実験にも参加してまいりました。これからも、みちびき利用促進に向けた社会実装に積極的に取り組むとともに、最新技術を軸としたGNSSソリューション「Cohac∞」でお客様の課題解決を進めてまいります。

【Cohac∞特設ページ】 <https://www.gnss.jp/>

■ 株式会社コアについて

1969年創業の東証一部上場企業。マイコンを搭載した組込み機器が社会に登場した草創期から組込みソフトウェア開発事業を開始し、またOA化や銀行のオンライン化が始まった当初からエンタープライズソフトウェア開発事業を手がけ、長年の経験と実績、豊富なエキスパート人材を数多く有しています。近年は、マーケットアウト指向のSIサービス、セキュリティ・ソリューションをはじめとするソリューションサービスとともに、組込みソフトウェアの技術や応用ノウハウを結実させたIoT関連製品や2005年から事業を開始しているGNSS関連製品を軸に、次世代に向けたソリューション提供に注力しております。 <https://www.core.co.jp>

■ 投資家の皆様へ

本プレスリリースは、当社の定性的な業務進捗をお知らせするためのものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の業績・経営指標の進捗・予想に関しては、取引所開示情報である決算短信等をご参照ください。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

■ 本製品に関するお問い合わせ先

株式会社コア
GNSSソリューション開発センター
営業統括部
牧
TEL：044-989-5115
E-Mail：gc-sales@core.co.jp
※(at)を@に変換し、ご利用ください。

■ 報道関係のお問い合わせ先

株式会社コア
経営管理室
経営管理担当
鎌原
TEL：03-3795-5111
E-Mail：coo-office@core.co.jp
※(at)を@に変換し、ご利用ください。